

被災市町村情報

福島県 川内村

1 市町村の状況等

項目	内容
概要	<p>川内村は福島県の浜通り阿武隈高地の最高峰の大滝根山の東山麓に位置します。気候は太平洋側山間で平均気温は10.6℃であり、1月から2月にかけて平均気温はマイナスになるものの積雪は少なく、夏は高原特有のさわやかな日が続きます。令和3年6月1日現在の人口は2,489人で村の基幹産業は農業（水稲、高原野菜等）です。</p>
復興状況	<p>本村は福島第1原子力発電所の事故により避難を余儀なくされておりましたが、平成24年3月末から行政機能を川内村に戻し、安全に住める環境を確保した上で、暮らしの利便性を取り戻しつつインフラ整備を進めて来ました。</p> <p>○雇用の創出・インフラ整備</p> <p>住環境整備では、住宅不足の解消を目的に村営アパート、災害公営住宅、若者定住住宅など157戸を整備しました。</p> <p>雇用の場の創出として、工業団地の造成を進め、7区画、15haが平成29年に完成しましたが、内3区画が企業進出しています。また、村内他所にも金属加工金型工場、蓄光タイル製造工場、チップ製材工場を誘致し、併せて自前で完全密封型水耕栽培の植物工場を立ち上げ、震災前より働く場所の選択肢が増え、新たな雇用が生まれています。</p> <p>生活に密着したインフラ整備については、平成28年に複合商業施設（YOUTASHI）がオープンし、身近な所で買い物ができるようになりました。</p> <p>医療機関が遠くなったため、震災前の内科・歯科に加え、平成24年度から眼科・整形外科・心療内科・消化器内科など、震災前よりも診療科目を増やしました。</p> <p>平成27年には、特別養護老人ホームかわうちがオープンしました。</p> <p>村内で葬儀等を挙げられよう葬祭センター「ふるさと」を整備しました。</p> <p>村民の体力維持向上のための施設として平成28年に温水の「もりたろうプール」がオープンしました。</p> <p>震災前から川内村の観光施設であった「いわなの郷」、「かわうちの湯」も改装・改修のうえ再開し、多くの利用客で賑わいを取り戻しております。</p> <p>さらにタイ国のコーヒーチェーン店 Amazon の日本第1号店がオープンし、村民の憩いの場となっています。</p> <p>教育環境の整備では、令和3年4月にかわうち保育園を併設した義務教育学校「川内小中学園」が開校し、新たな教育環境がスタートしました。今後、川内ならではの教育に力を注いでいます。</p> <p>○新たな産業の創出</p> <p>基幹産業である農林畜産業では、生食用ぶどうの栽培、西洋野菜栽培やエゴマの生産販売など、新たな内発的産業の動きも出てきています。</p> <p>昨年の秋には、いちご栽培に着手し、年明けから出荷も始まっています。</p> <p>ワイン用ブドウは、5年前に定植した苗木から、昨年初めて収穫・委託醸造を行い、令和3年4月川内産ブドウを使用したワイン「シャルドネ 2020」が</p>

	<p>完成しました。現在、村内のヴィンヤードに醸造施設を建設中で、今秋にはワイン醸造を開始し、来春には、川内産ワインと表示されたボトルが店頭に並ぶことを楽しみにしております。</p> <p>○移住定住の取り組み</p> <p>新たなステージを迎え、帰還促進と復興を更に進めながら、交流人口を拡大し、定住人口を増やすための施策に取り組んでいます。</p> <p>移住支援については、結婚祝金、保育料・給食費無料、医療費無料（18歳までの児童対象）新築住宅建設補助（300万円）、ひとり親移住奨励金を行っています。</p> <p>○復興の先の課題</p> <p>現在も避難している村民の大部分は子ども達がいる子育て世帯です。若い世帯の帰村が進んでいないことで、コミュニティを維持していくことが困難な地域も出てきています。震災前よりも行政依存度が高まり、村民の自立を促すことの大変さを感じています。さらに、国の復興予算が減少していく中で景気の反動減等の課題が顕在化してきています。</p> <p>令和3年度は、2名の派遣職員の協力をいただき災害からの復興、住民の健康管理に努めていただいております。</p>
ホームページアドレス	http://www.kawauchimura.jp
交通	<p>○JR磐越東線 船引駅から川内村役場まで 路線バス（福島交通）で約1時間15分</p> <p>○JR磐越東線 神俣駅から川内村役場まで 路線バス（常磐交通）で約40分</p> <p>○常磐自動車道 常磐富岡ICより川内村役場まで車で20分</p>
放射線情報	<p>旧緊急時避難準備区域と旧避難指示解除準備区域は、住宅除染や農地除染が完了し放射線量は低い状況です。勤務先の役場付近の屋外空間線量は6月1日現在で0.07μSv/hです。</p>

2 勤務条件等

項目	内容
勤務時間	8時30分～17時15分 (休憩時間：12時00分～13時00分)
休日	土曜日、日曜日、国民の祝日、12月29日～1月3日
時間外勤務	業務の進捗状況により、無理のない範囲でお願いする場合があります。
年次有給休暇	<p>暦年に20日付与、繰越20日限度。</p> <p>年の途中で派遣された場合は、20日に前年からの繰越日数を加えて得た日数から、川内村職員に併任された日の前日までに使用した年次休暇の日数を減じた日数となります。</p>
その他の休暇	特別休暇等のその他の休暇については、川内村職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び規則に定めるものとします。

宿	舎	仮設住宅、民間のアパートの入居になります。
	備 品	ガスレンジ、エアコンは設置済みです。
	駐 車 場	駐車場がありますので、自家用車を所有されている場合は、お持ちいただいた方が便利です。
	通 勤 手 段	徒歩、自転車、自動車
	通 勤 時 間	徒歩 20 分、自転車 10 分、自動車 5 分
	立 地 条 件	商業施設（YO-TASHI）、温水プールまで徒歩 5 分、 温泉施設（かわうちの湯）まで 15 分。

3 インフラ等

項 目	内 容
商 業 施 設	複合商業施設（YO-TASHI）
医 療 機 関	診療所（内科・歯科・眼科・整形外科・心療内科・消化器内科）
子育てに係る施設	幼保連携型認定こども園かわうち保育園 義務教育学校川内小中学園
水・電気・ガス	水： 井戸水 ガス：プロパンガス

4 その他（コメント等）

村民一人ひとりが希望や生きがい、川内プライドを持ちながら暮らすことのできる村、多くの人々を惹きつけるような、「輝く村」づくりに取り組んでいます。

5 担当者連絡先

所属部課名	総務課
電話番号	0240-38-2111
FAX番号	0240-38-2116
メールアドレス	soumu@vill.kawauchi.lg.jp